

平成28年5月22日
今週のベストショット



雁レク軟式7 三苦フレンズ 対 奈多サンデーズ戦

見事な連携でサンデーズ江口選手を三塁タッチアウトにする三苦フレンズ守備陣。

写真：奈多クラブ 木伏陽一郎

青松園A ジャガーズ勝利も残塁13！！

塩浜ジャガーズ（1勝1敗）5 0 0 0 0 0 0 5 荒木○一橋村
ソルトベイスターズ（2敗）1 0 0 1 0 0 0 2 酒井●、中村一春田

HR：中村（耕）（ソルト）

初回塩浜ジャガーズは、ソルトベイスターズ先発の酒井投手の立ち上がりを攻め、無安打で一挙5点を先制。対するソルトベイスターズもその裏に反撃を行うも1点を返すのみ。ジャガーズは三回表にエラーと技ありのバントヒットで無死満塁の大チャンス！！このチャンスに三番荒木選手だったが、三ゴロで三塁ランナーはホームアウト。さらに二塁ランナーが果敢に三塁を狙うもアウトになり、この回は無得点に終わる。ジャガーズは六回表にもヒット3本で再び一死満塁のチャンスを作ったが、代打の切り札？高嶺選手が遊ゴロに打ち取られホームアウト。二塁ランナーもホームを狙ったがソルトベイスターズの堅い守備に阻まれ無得点。一方ソルトベイスターズは初回途中から登板した中村（耕）投手が粘りのピッチングで二回以降無失点に抑えると、四回裏に自身が右越えソロHRを放ち鼓舞したが、以降味方の援護も無くここまで。この試合を振り返ると二回のチャンスを進め切れなかったジャガーズ、反撃の糸口を掴みきれなかったソルトベイスターズ。両チーム共に不満が残る試合ではなかったか？（記事：新町ウインズ 大久保浩、写真：早田主大）



投球が安定しないソルト先発の酒井投手。



酒井投手を励ますソルト石井選手。



初回スクランブル登板のソルト中村耕一郎投手。



七回2失点と好投したジャガーズ荒木投手。



マスク越しのソルト春田捕手。



打席で鋭い眼光を放つ春田捕手。



本塁タッチアウト！



ソルト真弓選手の当たりが三塁線を抜く。



四回裏、右越えソロを放ったソルト中村耕一郎選手。



満塁の場面で緊張の面持ちのソルト石井選手。

青松園B 集中打を放ち三友クラブの勝利

三友クラブ (3勝) 0 1 2 1 4 足達○、久岡一柿崎

レッドサンデーズ (3敗) 2 0 0 0 2 塚本●、古賀一荒口

2BH: 松尾(三友ク) 盗塁: 松尾(三友ク)、神田2、塚本(レッド)

初回三友クラブは、ヒットと四球で二死二三塁のチャンスを作るが、五番中嶋選手の打球が二塁走者の松尾選手に当たってしまいチャンスをもにすることが出来なかった。その裏レッドサンデーズは、2四球とWPなどでノーヒットにて2点を先制する。しかし二回以降三友クラブが集中打を絡め毎回得点をしていく一方、レッドサンデーズは二回以降立ち直った足達投手に2安打に抑え込まれてしまう。最終回レッドサンデーズは、2四球で二死二三塁のチャンスを作り、バッターは一番川原(陸)選手。痛烈な打球がセンターに飛ぶが、惜しくもセンター正面のライナーでゲームセット。あと1本が出なかったレッドサンデーズ。三友クラブはクリーンアップの活躍が目立ち、よく声の出たいい試合運びだった。(記事・写真: 三苦ホーネッツ 広木俊輔)



三友クラブ先発の足達投手。



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



一回裏、WPでクロスプレー 川原(陸)選手と足達投手。



三遊間の打球に飛びつくレッド川原(陸)遊撃手。



タイムリーを打つ三友クラブ中嶋選手。



一塁コーチャーを奪い合う レッド田浦選手と田村選手。



リリーの三友クラブ久岡投手。



リリーのレッド古賀投手



投打のヒーロー、三友クラブ四番松尾選手(左)と足達投手(右)。

雁レク7 試合を決定づける決勝満塁弾！

三苦三球会 (2敗) 001000 1 吉留●—藤澤

奈多フェニックス (2勝1分) 12005× 8 今林(勇)○、松本—実延(新)

HR: 西藤、実延(彰) (奈多フ) 盗塁: 大津 (三球会)

三球会先発吉留投手、フェニックス先発今林(勇)投手と好投手二人による投手戦が予想されたが、フェニックス先発今林(勇)投手は三球会先頭の一歩塚(太)選手に四球を与え、出塁を許すと内野陣の野選や失策でい

きなり無死満塁となる。しかし、ここからギアを上げたのか今林（勇）投手は後続を三者連続で三振に打ち取り、見事無失点で切り抜けた。その裏、フェニックスは無死一三塁から一塁走者の今林（勇）選手の盗塁死の間に三塁走者の西藤選手が生還。1点を先制する。さらに二回裏二死二三塁から九番太田選手の中前打で2点を追加する。一方、三球会は三回表に暴投で走者が生還した1点のみであったが、得点圏に走者を進める場面もあったのであと一本が出ればどちらに試合の流れが傾いてもおかしくはなかった。しかし、五回裏フェニックス先頭の一番西藤選手の本塁打で1点を追加。その後も一死満塁とし、ここで六番実延（彰）選手に打席がまわる。そして実延（彰）選手の放った打球は左中間を破り、試合を決定づける決勝満塁弾となった。六回表はフェニックス二番手松本投手がきっちり締めてゲームセット。敗れた三球会は初回無得点が痛かったか。

（記事・写真：雁ノ巣ライナーズ明瀬旭）



五回を投げ、1失点好投の今林（勇）投手。



一回表、三球会は無死満塁のチャンスで無得点。



三苦三球会先発の吉留投手。



二回裏、先頭で左前安打のフェニックス五番今林（英）選手。



二回裏、九番太田選手の2点適時打。



三回表、暴投で生還をする三球会大津選手。



デッドライン際でナイスキャッチ！フェニックス太田一塁手。



五回裏、決勝の満塁弾フェニックス実延（彰）選手。



きっちり締めたフェニックス二番手松本投手。



二戦連発のフェニックス実延（彰）選手。

雁レク軟式7 奈多サンデーズ接戦を制する、劇的サヨナラ勝ち！

三苦フレンズ（2敗） 001300 4 山口ー佐藤

奈多サンデーズ（1勝1敗）102011X 5 江口ー大川

HR：山口（三苦フ） 2BH：生野（三苦フ） 盗塁：大川（奈多サ）

奈多サンデーズは、序盤から元同僚の剛腕・三苦フレンズ山口投手を攻略し2点差をつけてリードする。このままサンデーズペースで試合が進むかと思われたが、フレンズは四回表、投手で四番の山口選手が左越えHRを放ち一気に逆転！試合の流れが大きくフレンズに傾き、逃げ切るかと思われた……。しかし、強豪サンデーズは選手一丸となり1点ずつ返し、最終回一死後、七番宮口選手が中前で出塁するとPBで二進し、後絶体絶命の二死から相手エラーによるサヨナラゲームで今季初勝利を手にした。敗れはしたもののフレンズ山口投手のスピードボールに今後の対戦チームは間違いなく苦しめられるだろう！！（記事、写真：奈多クラブ 木伏陽一郎）



奈多サンデーズ先発は安定感抜群の江口投手。



三苦フレンズ先発は剛腕山口投手。



一瞬の隙を突き盗塁を決めたサンデーズ大川選手。



古巣相手に投手で四番のフレンズ山口選手。



レフトに見事なホームラン フレンズ山口選手。



背中にデットボールをうけて痛そうなフレンズ御手洗選手。



サンデーズ四番秋山選手の見応えある対決！



三塁を狙うサンデーズ江口選手残念ながらタッチアウト。



フレンズ生野選手が一塁から一気にホームを狙うもタッチアウト。



サヨナラ勝ちで喜ぶサンデーズナイン！

第5週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第5週、5月22日は久しぶりの4試合が行われました。

青松園Aの塩浜ジャガーズ対ソルトベイスターズ戦は、初回無安打ながら7四死球で5得点をもたらしたジャガーズが有利に試合を進めていくが、ソルト二番手の中村耕一郎投手が踏ん張る。自身もHRで反撃するも、ジャガーズ荒木投手が2点に抑え5-2でジャガーズの勝利。ソルトは酒井投手の成長を望み先発させているが、もう少し時間がかかるか？ジャガーズも勝利はしたが、次の1点を取る工夫をもっとしなければ、上位チームに勝つのは難しい。

青松園Bの三友クラブ対レッドサンデーズ戦は、初回の満塁のピンチを無失点で乗り切ったレッドは、その裏WPで好投手三友クラブ足達投手から2点を挙げる。しかし、立ち直った足達投手は、三塁にランナーを背負うも無失点で切り抜ける。三回表に逆転した三友クラブは最終四回表にも代ったレッド古賀投手から四番松尾選手のタイムリーで1点を追加した三友が4-2で勝利。両チームが塁を賑わす展開の遅い試合だったが、三友クラブの主軸の力強い打力が目立った。

雁レク7の三苦三球会对奈多フェニックス戦は、初回の無死満塁のピンチを三者三振で切り抜けたフェニックス今林勇太投手を強力打線がバックアップ。一回裏に無安打で1点を先取したフェニックスが二回には九番太田選手の2点タイムリー、最終五回表には一番西藤選手のソロと六番実延彰洋選手の満塁HRで一気に試合を決めたフェニックスが1-8で勝利。両チーム安打は出るが、長打力の差が出た試合だった。

雁レク7（反対側）の奈多サンデーズ対三苦フレンズ戦は、先の藤本杯準決勝では辛酸を舐めた奈多サンデーズがリベンジを期す相手。この時の投手も元同僚の山口投手とあって、この試合に懸けるサンデーズナインの思いは高かった。取っては取り返す一進一退の攻防が続き、四回表に山口投手自らHRを放ち、遂に逆転したフレンズ・・・だったが、最後は逆転してからのサヨナラでサンデーズが雪辱を晴らした。

テニスの全仏オープンが始まり、錦織圭選手が苦しみながらも四回戦へと勝ち進みました。三回戦の相手は世界ランキング52位のフェルナンド・ベルダスコ（スペイン）。2セットを先取して、2セットを取られ、相手ペースかと思われましたが、最後はフルセットで競り勝ちました。

こんな試合展開は、今週の奈多サンデーズ対三苦フレンズ戦によく似ているなと思いました。

グランドスラムを制していない選手の中で最も優勝に近い選手として錦織圭選手の名前が上がるほど、今回は期待されています。

WSLでは上位チームも結構苦戦しながら、最後には勝つといった光景をよく目にしますが、逆を言えば、下位チームでも何かのキッカケがあれば上位チームに勝てるとも言えます。

最後まで何が起こるか分からないのがソフトボールの面白さでもありますから、皆さん最後まで手を抜かずに戦ってください